



平成22年8月10日

各 位

会 社 名 フジコピアン株式会社
 本社所在地 大阪市西淀川区御幣島五丁目4番14号
 代表者名 代表取締役社長 赤城 貴太郎
 (コード 7957 大証2部)
 問 合 せ 先 常務取締役管理部担当 本出 壯太郎
 電 話 番 号 06-6471-7071

特別利益および特別損失の発生ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年12月期において、下記のとおり特別利益および特別損失を計上しましたのでお知らせします。
 また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年5月12日に公表しました平成22年12月期(平成22年1月1日～平成22年12月31日)の業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1 特別利益および特別損失の内容について

当社の岡山工場において、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(国庫補助金)の交付を受けたことにもない、特別利益として補助金収入30百万円、特別損失として固定資産圧縮損30百万円をそれぞれ計上しました。

2 業績予想の修正について

平成22年12月期 第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	5,200	200	200	200	12.24
今 回 発 表 予 想 (B)	5,385	345	263	199	12.23
増 減 額 (B - A)	185	145	63	1	
増 減 率 (%)	3.6	72.5	31.5	0.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年12月期第2四半期)	4,031	267	226	279	16.76

平成22年12月期 通期連結業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	10,400	300	300	300	18.36
今 回 発 表 予 想 (B)	10,500	500	350	300	18.55
増 減 額 (B - A)	100	200	50		
増 減 率 (%)	1.0	66.7	16.7		
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	8,503	248	231	598	36.26

平成22年12月期 第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,100	200	200	200	12.24
今回発表予想(B)	5,251	321	254	199	12.22
増減額(B-A)	151	121	54	1	
増減率(%)	3.0	60.5	27.0	0.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年12月期第2四半期)					

平成22年12月期 通期個別業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,200	300	300	300	18.36
今回発表予想(B)	10,300	450	350	300	18.55
増減額(B-A)	100	150	50		
増減率(%)	1.0	50.0	16.7		
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	8,187	261	221	845	51.18

(注)前期第2四半期実績(個別)については公表していません。

修正の理由

平成22年12月期の連結ならびに個別業績予想につきましては、景気回復にともなう需要増加傾向のなか、主力製品であるバーコード用リボン、修正テープおよび新規事業製品である機能性フィルムなどの拡販に努めた結果、売上は順調に推移しました。生産面におきましては、生産革新活動を通じて徹底した効率化を進めるとともに、昨年導入した設備の活用により新規事業の拡大を図ってまいりました。

この結果、第2四半期の売上高、営業利益、経常利益は、前回予想を上回る予想となりましたが、当期純利益については7月13日にお知らせしましたとおり投資有価証券評価損の計上によりほぼ前回予想のとおりの予想となりました。通期についても、売上高、営業利益、経常利益は、前回予想を上回る予想となりましたが、当期純利益については同じ理由により前回予想のとおりの予想となりました。

(注)上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上